

**【事後調査の結果】**

調査項目：水循環

予測した事項：掘削工事に伴う地下水の流況の変化の程度

**(1) 調査地域**

調査地域は、掘削工事に伴う地下水の流況への影響が考えられる図 3-1 に示す計画地内とした。

**(2) 調査手法****ア) 調査事項****① 予測した事項**

- ・掘削工事に伴う地下水の流況の変化の程度

**② 予測条件の状況**

- ・施工計画（山留工事、土工工事（掘削工事）、杭工事）の状況
- ・計画地の地下水の状況

**③ 環境保全のための措置の実施状況****イ) 調査時点**

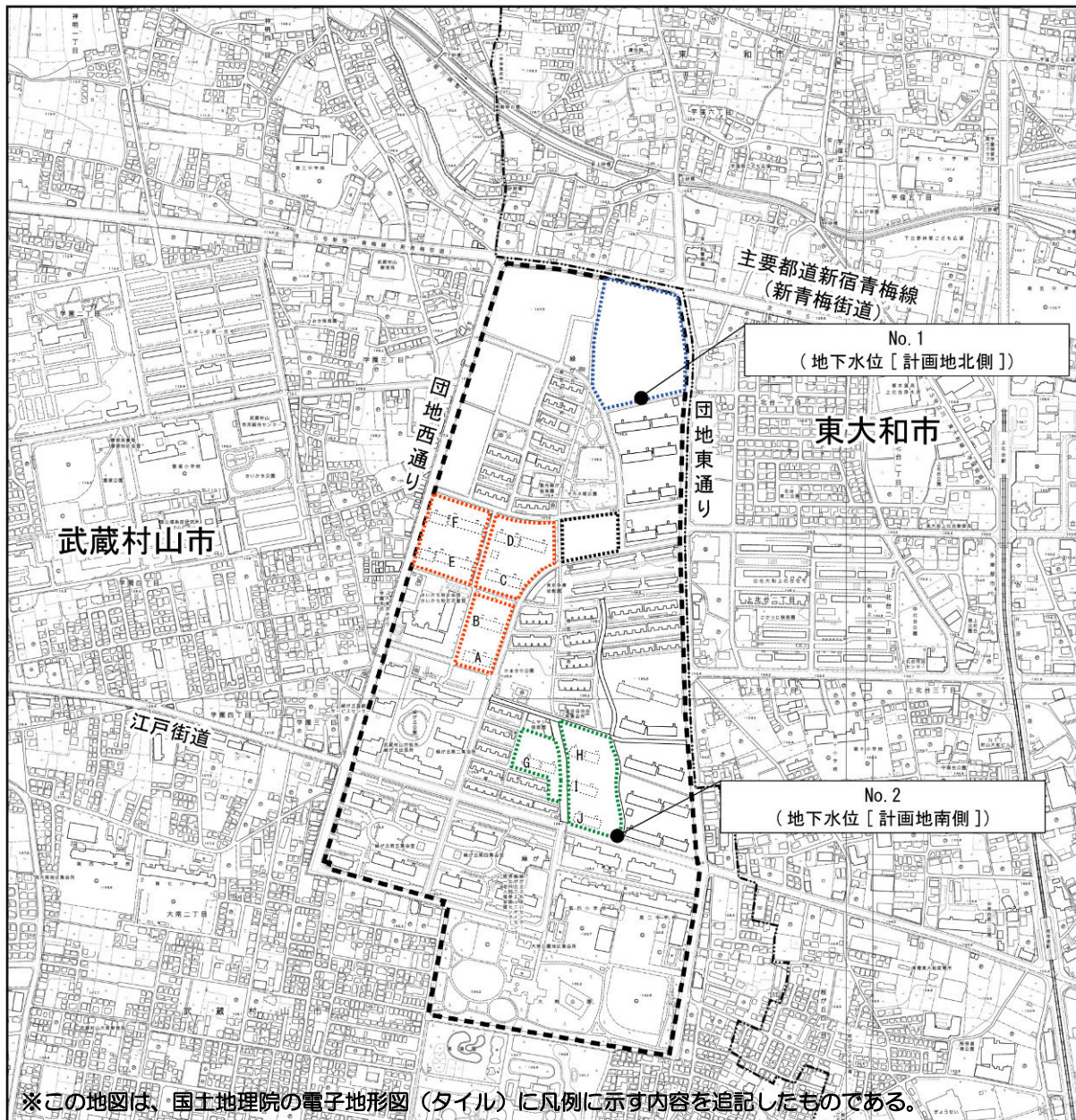
調査期日は、【後期第 1 期(後期)】の山留工事、土工工事（掘削工事）、杭工事の工事着手前の平成 29 年 8 月 10 日から平成 31 年 2 月 28 日までとした。

**ウ) 調査地点**

調査地点は、図 3-1 に示すとおり、計画地内の北側と南側の 2 地点とした。

なお、地下水位調査を実施するにあたり、計画地内の 2 地点において観測井設置工事を行った。

観測井の構造図及び柱状図は、図 3-2 に示すとおり、井戸深度は GL-15m、ローム層下部に位置する砂礫層、粘土質礫層の区間（9m又は 10m）に有孔管を設けた。



※この地図は、国土地理院の電子地形図（タイル）に凡例に示す内容を追記したものである。

### 凡例

- : 市境
- : 地下水位調査地点
- - - - - : 計画地
- : 除却
- : 後期第1期 (前期) ①②
- : 後期第1期 (後期)
- : 工事区域



1 : 10,000

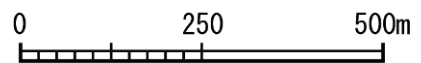
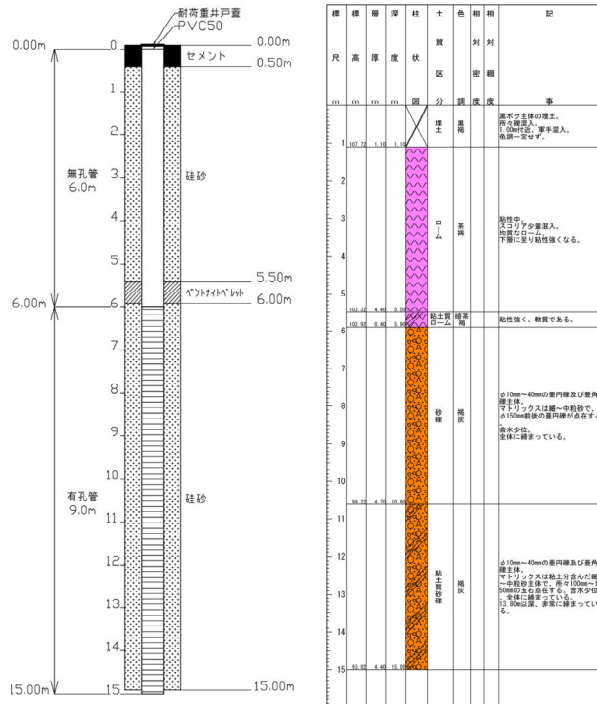


図 3-1 地下水位調査地点位置図

No.1(計画地北側)  
管頭標高:T.P.107.595m



No.2(計画地南側)  
管頭標高:T.P.105.206m

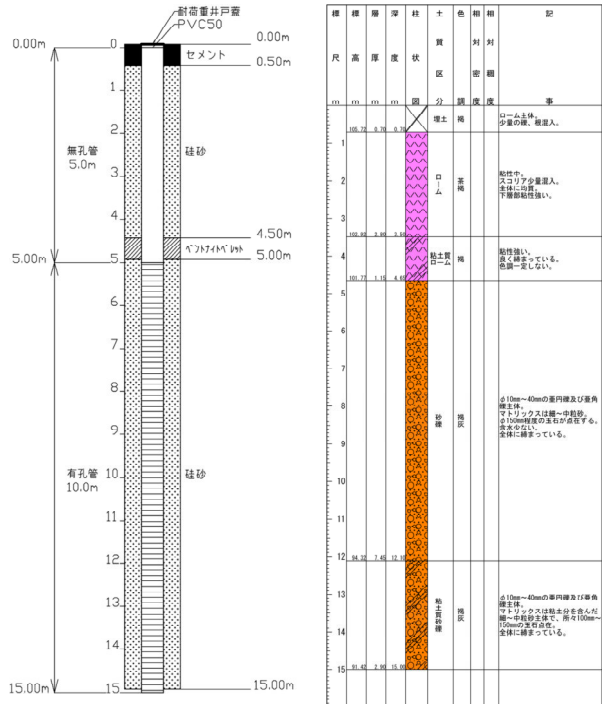


図 3-2 観測井構造図及び柱状図

エ) 調査方法

調査方法は、表 3-1 に示すとおりである。

表 3-1 調査方法

調査事項		調査方法
予測した事項	掘削工事に伴う地下水の流況の変化の程度	観測井に設置した自記水位計を用いた地下水位の1時間間隔の連続測定。
予測条件の状況	施工計画(山留工事、土工工事(掘削工事)、杭工事)の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料(作業日報等)の整理による方法。
環境保全のための措置の実施状況		現地調査(写真撮影等)及び関連資料(作業日報等)の整理によった。